

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年5月8日

事業所名：こども発達支援 みんなの基地 保護者数(児童数)：7 回収数：6 割合：86%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、令和6年4月1日時点で当事業所を利用されている保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				定員に対して十分だと思います	
	②	職員の配置や専門性は適切であるか	6				定員に対して十分だと思います	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6				作戦会議(おあつまり)の場、活動の場当と分けられていてわかりやすいと思います	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	6				いつもきれいだと感じています	
適切な 支援の 提供	⑤	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				子どもの様子や保護者のニーズをくんでもらって、素敵な計画だと思います	
	⑥	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6				子どもに合った内容だと思います	
	⑦	児童発達支援計画書に沿った支援が行われているか	6				日々取り組まれていると感じています	
	⑧	活動プログラム（事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のこと。子どもの特性や課題に応じて柔軟に組み合わせて実施されていることが想定される。）が固定化されないように工夫されているか	6				色々な活動に取り組んでいると思います	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、一緒に活動する機会があるか	5			1	保育園の時間内で通っているので、普段の園生活と一緒に活動できていると思う。みんなの基地ならではの体験がありがたいです	今現在利用されているこどもが全員並行通園のため、みんなの基地の方から保育所等との交流の機会を設けてはおりませんが、今後必要性を感じるようなことがあればそのような機会も設けていこうと思います。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			わかりやすかったです	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6			丁寧でした	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等：保護者が子どもの行動を観察して特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。）が行われているか	6			アプリの連絡帳で、みんなの基地での対応方法知ることができるので、参考にしています	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6			連絡帳できていると思います	
	⑭	定期的に、保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			モニタリングの時などに、ゆっくりとお話することができます	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	6			参観ウィークや茶話会等を開催されているので、ぜひ参加したいです	
	⑯	子どもの保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			電話やメール等で対応いただいています	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			丁寧に話されています	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6				
非常時の対応	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6			アプリで子どもの写真が届くが、他児が写らないように配慮されています	
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		4	災害時のマニュアルは伺っています	マニュアルの策定、保護者の皆様へのご説明が十分にできていなかったことを反省点とし、令和6年度の報酬改定に伴い変更された重要事項説明について、書面を用いてご説明させていただく際に、これらのことについてもご説明させていただこうと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		2	南海トラフ地震等の不安があるので、非常時に備えての避難訓練があります	

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	6				楽しみにしています。帰ってきたときも、今日したことを楽しそうに教えてください	
	②③	事業所の支援に満足しているか	6				とても満足しています。今後、卒園後の居場所として、放デイも関所してもらえたらなと思っています	

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年5月8日

事業所名：こども発達支援 みんなの基地

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		職員による自己評価を実施するにあたり「いいえ」を選択した理由の入力を必須としていなかったために、その理由が不明。そのため何を課題とすべきか考えられず。次回職員による自己評価実施の際は「いいえ」を選択した理由の入力を必須とする。基準は十分に満たしている。
	②	職員の配置数は適切である	1	4		直接支援員は配置できているが、昨年10月より児童発達支援管理責任者欠如が続いている。求人募集継続中。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	元々の環境は構造化されたものではないが、当事業所を利用することにも合わせて、利用の流れや活動に合わせての環境設定を都度職員で話し合い、できる限りの設定工夫をしている。	課題：自立課題実施する際、個人が集中できる環境が十分ではない。 改善内容：個人が集中して取り組むことができるよう、こどもの取り組む様子に合わせて席や支援員の配置の部分で工夫を続けていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	4	1		①に同じ。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標の設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		開所日は1日2回又は必要時にミーティングを行い、都度情報の共有、意見交換を行い、次の支援に繋がられるよう振り返るようにしている。	
	⑥	保護者等向けの評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	5		開設して初めての事業所評価。今回いただいた評価結果について、職員で共有し、改善に向けての話し合いを行っている。	
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開している	3	2	〃	開設して初めての評価実施、しっかり公表していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	開所してまだ一年もたたずの事業所のため、外部評価以外の方法で業務改善に努めている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		内部研修を定期的実施し、外部研修にも積極的に参加している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	児童発達支援管理責任者不在で計画の見直しはできていないが、モニタリングは実施し、ニーズや課題について日々職員間で共有し、関わる中でPDCAサイクルは実践している。	「いいえ」の理由は児童発達支援計画作成できる児童発達支援管理責任者不在のため。 改善目標：児童発達支援管理責任者の配置、計画作成。
	⑪	こどもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		課題：標準化されたアセスメントツールではない 改善目標：標準化されたアセスメントシートを作成する
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		⑩に同じ
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	活動プログラムは週担当者が企画提案しているが、それについてみんなで意見交換し、より良いものになるよう提案しながらチームで行っている。	①に同じ
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	5			
	⑯	こどもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	4	1	こどもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適宜組み合わせさせてはいる。	⑩に同じ
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		⑩に同じ
	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	㉒	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		①に同じ
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			

関係機関や保護者との連携

②4	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		「いいえ」の理由は、まだそのような場面がないため。今後そのような場面があれば、積極的に連携を図っていきたいと思っている。
②5	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
②6	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのないこどもと活動する機会がある	2	3		「いいえ」の理由は、今現在当事業所を利用しているこどもが全員並行通園であり、みんなの基地の方から保育所等との交流の機会を設けてはいないため。今後保育所等施設に所属していないこどもが当事業所を利用するようなことがあれば、そのような機会も設けていく。
②7	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	自立支援協議会子ども支援部会等へ積極的に参加している。	①に同じ
②8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	今年度は家族支援の観点から、茶話会開催、参観week(1週間)、個人相談対応日を設けた。	①に同じ ※職員からは悩ましい設問だったと話あり。 改善内容：令和6年度は茶話会、参観week、個人相談以外にも家族支援についての計画をしていく。
③0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
③1	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
③2	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
③3	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		課題：保護者同士の連携支援にまでは至らなかった。 改善内容：保護者同士の連携に繋がるようなことを今年度は企画していく。
③4	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応している	5			

保護者への説明責任等

③⑤	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		課題：予め活動概要や行事予定というものは発信していない…。ただ、固定しないことでのメリットもあり、こちらで決めたことを子どもにさせるのではなく、子どもの様子を見ながら、又は利用状況に合わせて次週の課題の設定、活動内容もブラッシュアップすることができている。 改善内容：保護者の皆様は就労されているため、早めの案内を心掛ける。年間計画として案内できれば、そこに合わせて休みも取りやすいのではという意見もあり。
③⑥	個人情報の取り扱いに十分注意している	5			
③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っている		5		課題：まだそこまでの余裕がないこと、児童発達支援管理責任者欠如のため地域への案内は躊躇われる。 改善目標：事業所運営が安定してきたときには、地域に開かれた事業所へと成長できるよう努める。
③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			課題：保護者の皆様とのずれが大きかったところ。職員間では周知ができ、訓練実施もしているが、そこは保護者様に十分にお伝えできていなかったことがわかった。 改善内容：令和6年度の報酬改定に伴い変更された重要事項説明の書面を用いてご説明させていただく。また、おたよりにて発信していく。
④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	火災避難訓練と南海トラフ巨大地震を想定した災害時の避難訓練は実施。	①に同じ 今後も定期的に対策の見直しや訓練を実施していく
④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5			
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	ヒヤリハットは記録して事務所保管としている。	課題：①様式に対策まで記録する箇所がなく十分ではない。 ②ミーティングで都度共有はしているも、ファイルは事務所で少しだけ離れているため手に取る頻度は少ない。 改善内容：①様式修正する ②事業所にヒヤリハットのファイルを置くようにする
④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			

非常時等の対応

④5	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	4	身体拘束等の適正化のための指針を整備しており、当事業所においては原則として身体拘束及びその他の行動制限をしないこととしている 緊急やむを得ない場合が生じなかったため、組織的に検討・決定することや計画に記載するようなこともなかった	課題：職員への周知不十分 改善内容：この機会に指針について周知を図った
----	---	---	---	---	--